

平成29年12月、前年同月比62%増
平成29年の東北の外国人宿泊者数、前年比46%増
東北6県全県において震災前の平成22年の水準を上回る
台湾・中国からの宿泊者増等の要因により、過去最高値となった

観光庁の宿泊旅行統計調査の平成29年12月分(第2次速報値)がとりまとめられたことを受け、東北運輸局管内(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県)の集計結果を、以下のとおりとりまとめましたので、お知らせいたします。

1. 東北運輸局管内の外国人宿泊者数の推移(別添1)

○平成29年12月の東北運輸局管内の延べ外国人宿泊者数は 72,640 人泊となっており、前年同月(44,710 人泊)と比較して 62%増。全国での前年同月比は 16%増であり、全国と比較しても東北地域の伸び率は高い。震災前の平成22年同月比でも 146%増となった。

○平成29年の東北運輸局管内の延べ外国人宿泊者数の年間値(速報値)※は 945,560 人泊となっており、平成28年の年間値(確定値・648,430 人泊)と比較して 46%増となり、平成19年の調査開始以来の最高値であった。

2. 東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数の推移(別添2)

○平成29年の前年比の伸び率は、台湾、中国及びタイが特に好調であり、前年(248,410 人泊、85,400 人泊、30,000 人泊)と比較してそれぞれ 54%増(382,810 人泊)、88%増(160,330 人泊)、42%増(42,730 人泊)となり、平成19年の調査開始以来の最高値であった。

3. 東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数の推移(別添3)

○平成29年の前年比の伸び率は、青森県、岩手県及び秋田県が特に好調であり、前年(143,590 人泊、125,330 人泊、62,360 人泊)と比較してそれぞれ 67%増(239,150 人泊)、51%増(189,070 人泊)、48%増(92,140 人泊)となり、震災前の平成22年比でも東北6県で増となった。

秋田県、福島県においては、震災前の平成22年の水準を初めて上回った。

※従業員数 10 人以上の施設における延べ宿泊者数。平成29年は月ごとの第2次速報値。

※「宿泊旅行統計調査(平成 29 年 11 月・第2次速報)」の数値について、回答のあったサンプルの集計値を拡大推計する際の乗率に誤りがあったので、訂正しております。

詳細につきましては、別添資料を参照願います。

その他、全国に関する調査結果等につきましては、観光庁の宿泊旅行統計調査のページ

<http://www.mlit.go.jp/kankochu/siryu/toukei/shukuhakutoukei.html>

を御覧ください。

《問い合わせ先》

東北運輸局 観光部 観光企画課 花沢・加藤

TEL:022-791-7509

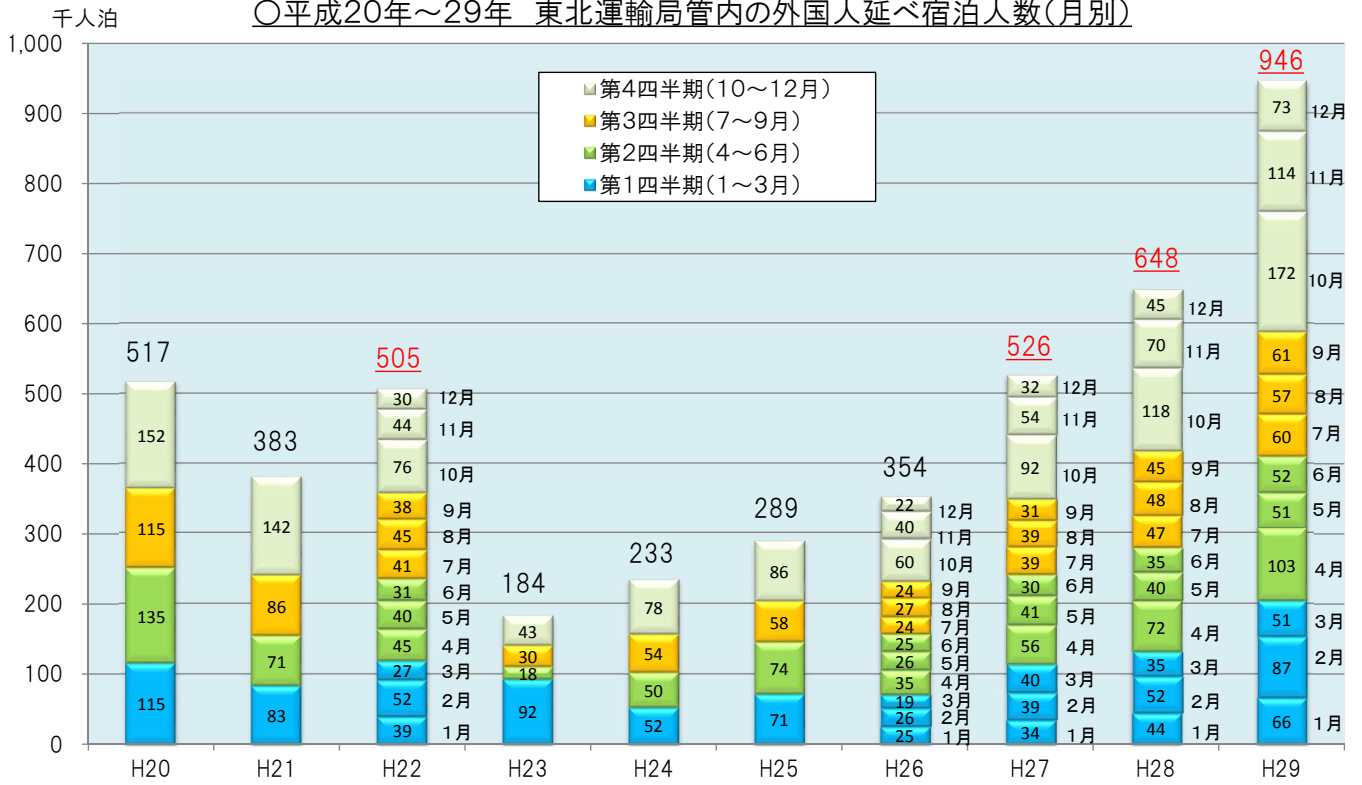
FAX:022-791-7538

東北運輸局管内の外国人宿泊者数の推移



- 平成27年の外国人延べ宿泊数の合計値は、震災前の平成22年の水準まで回復。
- 平成28年の外国人延べ宿泊数の合計値は、平成27年の23%増となった。
- 平成29年の外国人延べ宿泊数の合計値は、平成28年の46%増となった。

○平成20年～29年 東北運輸局管内の外国人延べ宿泊人数(月別)



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。平成29年は月ごとの第2次速報値。(出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添1

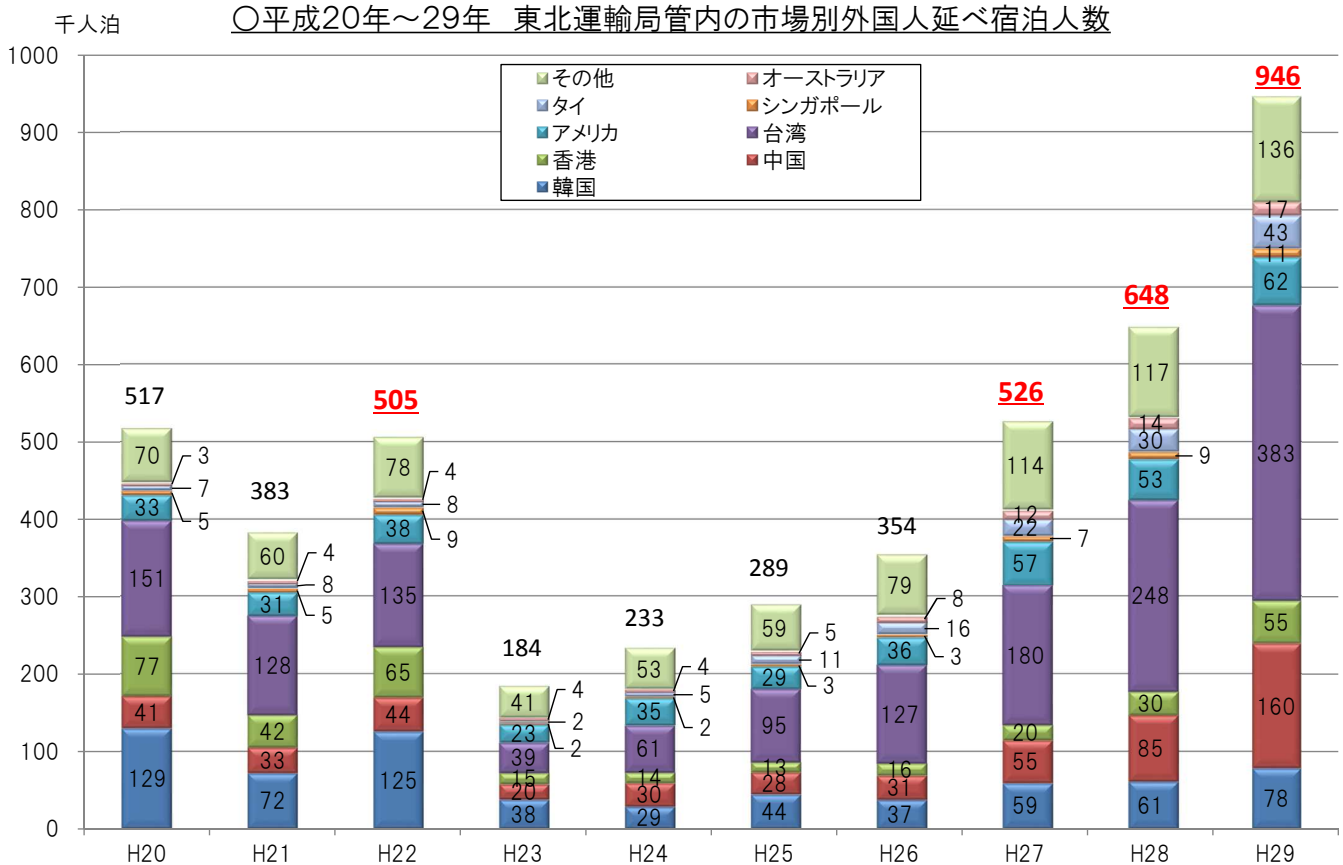
東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数(その1)



国・地域	平成28年との比較						平成22年(震災前)との比較					
	総数 (平成29年12月の 前年同月比)			総数 (平成29年の 前年比)			総数 (平成29年12月の 平成22年同月比)			総数 (平成29年の 平成22年比)		
	平成28年	平成29年	伸率 (%)	平成28年	平成29年	伸率 (%)	平成22年	平成29年	伸率 (%)	平成22年	平成29年	伸率 (%)
総数	44,710	72,640	62	648,430	945,560	46	29,540	72,640	146	505,400	945,560	87
韓国	4,440	6,530	47	60,890	78,170	28	6,350	6,530	3	125,090	78,170	-38
中国	7,540	14,530	93	85,400	160,330	88	2,220	14,530	555	43,780	160,330	266
香港	2,630	4,260	62	30,420	55,260	82	4,990	4,260	-15	65,290	55,260	-15
台湾	14,940	26,630	78	248,410	382,810	54	5,880	26,630	353	134,550	382,810	185
アメリカ	2,730	3,280	20	52,670	61,710	17	1,810	3,280	81	37,640	61,710	64
ロシア	90	150	67	2,410	3,860	60	130	150	15	2,240	3,860	72
シンガポール	1,070	1,810	69	8,820	11,210	27	1,280	1,810	41	9,040	11,210	24
タイ	2,470	3,160	28	30,000	42,730	42	710	3,160	345	7,840	42,730	445
マレーシア	400	560	40	3,910	4,040	3	120	560	367	2,130	4,040	90
オーストラリア	950	1,410	48	14,410	16,960	18	640	1,410	120	4,120	16,960	312
その他	7,450	10,320	39	111,090	128,480	16	5,410	10,320	91	73,680	128,480	74

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成29年は月ごとの第2次速報値。(出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添2-1

東北運輸局管内の市場別外国人宿泊者数(その2)



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成29年は月ごとの第2次速報値。 (出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添2-2

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その1)



- 青森県の12月の増加の要因は、台湾とのチャーター便の運航(毎週2便(火、水曜))、韓国定期便増便等による。
- 岩手県の12月の増加の要因は、他県空港発着のチャーター便運航等による。
- 宮城県の12月の増加の要因は、年末におけるチャーター便を含む国際線の運航本数増加等による。
- 秋田県の12月の増加の要因は、中国、韓国からの旅行商品造成支援強化等による。

- 青森県の平成29年の増加の要因は、5月からの青森天津定期便の就航(毎週2便(日、水曜))等による。
- 岩手県の平成29年の増加の要因は、9月・10月の台湾とのチャーター便の運航(毎週2便(日、水曜))等による。
- 宮城県の平成29年の増加の要因は、タイのドラマ等による知名度向上やタイの映画誘致等による。
- 秋田県の平成29年の増加の要因は、秋田空港発着のチャーター便の増便等による。
- 山形県の平成29年の増加の要因は、チャーター便の運航や国際会議開催等による。
- 福島県の平成29年の増加の要因は、台湾・タイへのデジタルプロモーションの強化等による。

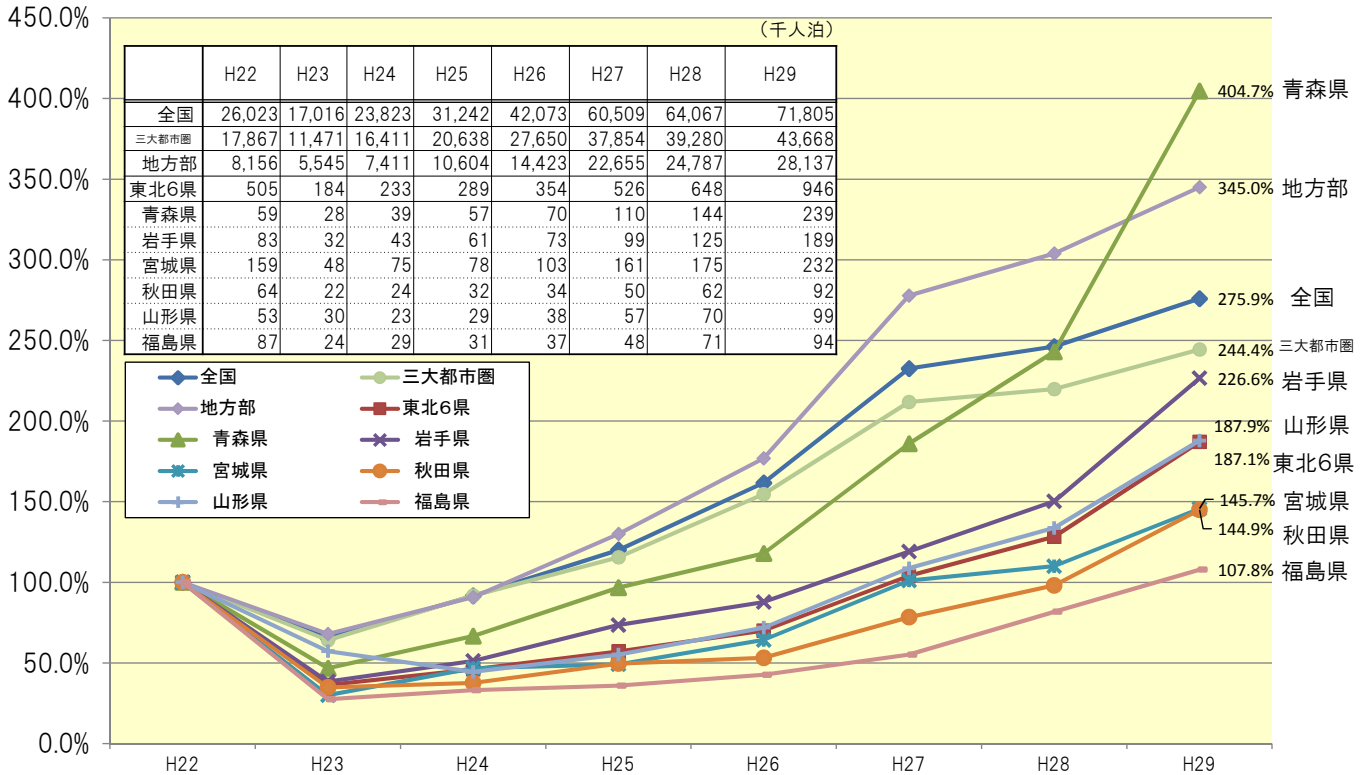
県	平成28年との比較						平成22年(震災前)との比較					
	総数 (平成29年12月の 前年同月比)			総数 (平成29年の 前年比)			総数 (平成29年12月の 平成22年同月比)			総数 (平成29年の 平成22年比)		
	平成28年	平成29年	伸率 (%)	平成28年	平成29年	伸率 (%)	平成22年	平成29年	伸率 (%)	平成22年	平成29年	伸率 (%)
全国	5,174,030	6,011,460	16	64,066,730	71,804,750	12	1,981,440	6,011,460	203	26,023,000	71,804,750	176
東北6県	44,710	72,640	62	648,430	945,560	46	29,540	72,640	146	505,400	945,560	87
青森県	6,170	17,510	184	143,590	239,150	67	3,760	17,510	366	59,100	239,150	305
岩手県	9,000	13,930	55	125,330	189,070	51	4,280	13,930	225	83,440	189,070	127
宮城県	12,860	19,850	54	175,480	232,310	32	10,210	19,850	94	159,490	232,310	46
秋田県	3,370	5,990	78	62,360	92,140	48	3,040	5,990	97	63,570	92,140	45
山形県	7,890	10,880	38	70,400	98,910	40	4,340	10,880	151	52,630	98,910	88
福島県	5,430	4,480	-17	71,270	94,000	32	3,910	4,480	15	87,170	94,000	8

※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。 ※平成29年は月ごとの第2次速報値。 (出典:観光庁宿泊旅行統計) 別添3-1

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その2)



○各県へ来訪した外国人宿泊者数の推移（平成22年を100とした場合の指数）



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。

※平成29年は月ごとの第2次速報値。

(出典:観光庁宿泊旅行統計)

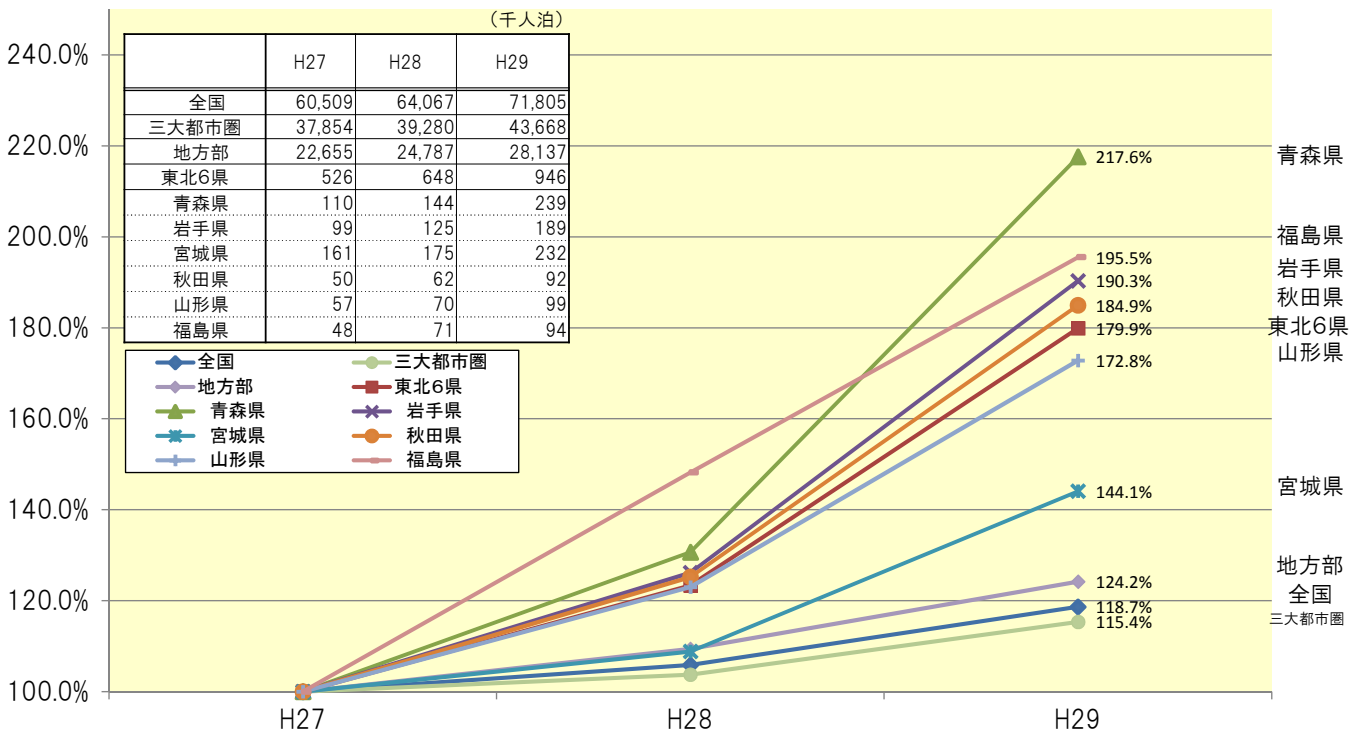
※三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

別添3-2

東北運輸局管内の各県別外国人宿泊者数(その3)



○各県へ来訪した外国人宿泊者数の推移（平成27年を100とした場合の指数）



※従業員数10人以上の施設における延べ宿泊者数。

※平成29年は月ごとの第2次速報値。

(出典:観光庁宿泊旅行統計)

※三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

※「明日の日本を支える観光ビジョン」において、東北6県の外国人宿泊者数を2020年150万人泊(2015年の3倍)にすることが掲げられている。

別添3-3